

令和4年度 第3回松本市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 会議録

日 時	令和5年1月13日（金） 15時00分～17時20分
会 場	大手公民館2階 大会議室
出席者	委員10名
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会議事項</p> <p>(1) 松本市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し（案）について （協議事項）</p> <p>(2) 教育・保育施設の施設類型の変更について（協議事項）</p> <p>(3) 重層的支援体制構築に係る他機関協働及び生活支援 のあり方について</p> <p>(4) その他</p> <p>3 閉 会</p>
会議事項	<p>2 会議事項</p> <p>(1) 松本市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し（案）について 前回の会議の資料から修正した事項について説明があった。 →了承。</p> <p>(2) 教育・保育施設の施設類型の変更及び利用定員の設定について 資料に基づき、令和5年4月1日移行予定の旨説明があった。</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>幼保連携型の認定こども園に移行することは賛成であるが、どのような子育て支援に関する取組みを行う予定なのか。 →中核市に移行して初めての認可審査になる。書類提出の際、子育て支援事業の項目に地域の子どもとその保護者が相互に交流を行う場所を開設する事業、子どもの養育に関する問題の保護者からの相談に応じる事業、家庭での子育てに関する相談を行う事業、子育てに関する情報の提供、助言、援助を行う事業を実施する予定との内容になっている。</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>国の基準はかなり緩い。少し厳しく指導して欲しい。また、経費補助などの制度を理由にしてハードルを上げた方がいいと思う。 →条例や法に基づき、事業内容について確認していきたい。</p> <p>(3) 重層的支援体制構築に係る他機関協働及び生活支援のあり方について</p>

<委員からの意見>

- ・ 児童福祉部児童福祉専門分科会からの意見となるので、子どもがいる保育園、幼稚園、学校を拠点として、子どもを中心として協働的に取組めると良いと思う。
- ・ 他の自治体でも重層的支援体制の構築については悩んでいると思う。他の自治体や外部機関と意見交換の場設けることが必要だと考える。
- ・ 地域食や郷土食を媒体として高齢者と子どもや子育て中の若い方が交流できる仕組みが公民館等で出来たら良いと思う。
- ・ 以前の会議中に相談場所や連絡先の一元化が必要という意見があったと思う。様々な情報を聴取できる仕組み作りということも盛り込んで欲しい。
- ・ 岡山県奈義町では、高齢者を含めて地域全体で子育てをしており、出生率が上がったという話を聞いた。地域の高齢者や子育て中の親子などが情報交換でき、食材を調達できるといった仕組みが地域でできるといいと思う。
- ・ 相談することを迷っている人を見つけた時に、幼稚園等の職員が、情報提供できるようになるといいと思う。
- ・ 保護者の悩みには、小学生の悩みもあれば、中学生の悩みもある。子どもの括りは、保育園・幼稚園、小学校、中学校、高校など世代によって悩みが違おうと思うので、年代に分けて考えられるといいと思う。
- ・ 同じ松本市内で関わり方や事業のやり方に温度差が無いようにして欲しい。
- ・ 寺子屋事業（教育政策課で実施）が今年から始まった。学習支援の団体も増えてきている。教育畑と福祉畑がもっと密接に結びついて繋がって進めていくべきだと考える。
- ・ サービスは色々あると思うが、困っている当事者の気持ちに寄り添えるところは少ないと思う。重層的支援体制の中に組み込んでいただきたい。
- ・ 支援などの物理的なものではなく、人材育成や人的財産を共有出来たり、活かす取り組みがあったらいいと思う。
- ・ 移住してくると、その地域で当たり前になることが分からないということがある。また、情報をどこで収集したらいいのかわからないということもある。この取組みが出来上がった時にはしっかりと周知してほしい。  
→様々な意見をいただいた。いただいた意見をもとに答申案に反映させたい。

(4) その他

<委員>

子ども大綱をもとに県や市町村が計画を策定することになると思うが、それでは遅すぎると感じている。子どもの意見を聞く機会を設け、子どもの声を反映させた計画となるよう、子どもが主役となる仕組みづくりを検討して欲しい。

→今後、検討していきたい。